

平成23年行政事業レビューシート

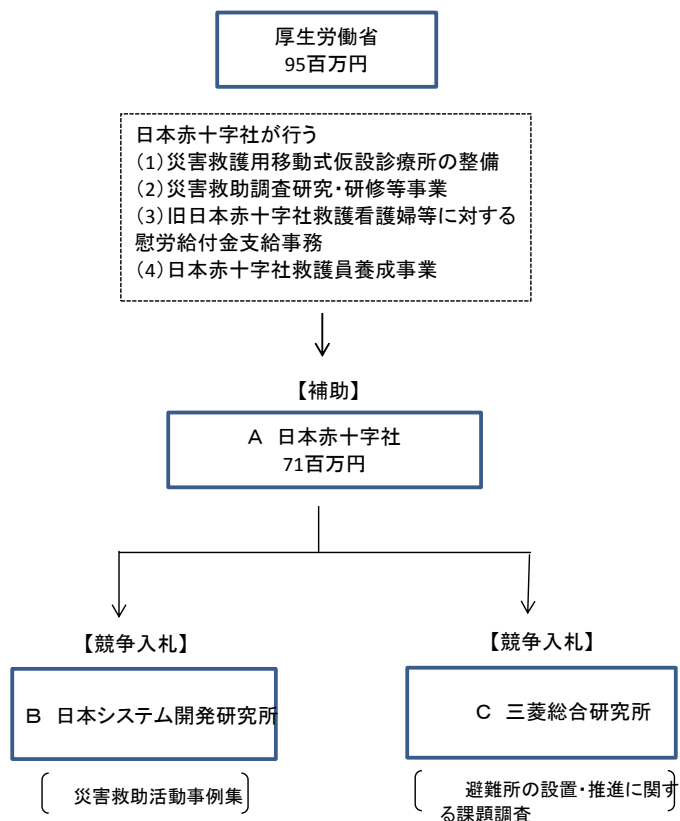
(厚生労働省)

事業名	日本赤十字社救護業務費等補助金	担当部局庁	昭和53年度	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	社会・援護局	担当課室	総務課	古都 賢一				
会計区分	一般会計	施策名	I-2-3 ホームレスの方や、日常生活を送る上で特別な援護が必要な方の地域での自立を支援する					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—	関係する計画、通知等	日本赤十字社救護業務費等補助金交付要綱					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	非常災害及び武力攻撃事態等における救護活動等の円滑な実施を図る							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	(1)旧日本赤十字社救護看護婦等慰労給付金支給事務費 旧日本赤十字社救護看護婦慰労給付金支給事務及び旧陸海軍従軍看護婦慰労給付金支給事務に必要な人件費等 (2)日本赤十字社救護員養成事業費 非常災害時における医療救護活動等に必要な知識・技術の習得のため、実習及び講習を行う							
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☒ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	156	156	95	41	41	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	156	156	95	41	41	
		執行額	150	139	71			
	執行率(%)	96%	89%	75%				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	戦時衛生勤務に服した旧日本赤十字社従軍看護婦等に対する慰労給付金支給事務及び非常災害時における医療救護活動等に備えた研修事業という事業内容に鑑み、これらの数値を成果目標とすることは適切でない。		成果実績		-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	(1)旧日本赤十字社救護看護婦等慰労給付金支給事務費 受給者数: 1,038人(H22実績)		活動実績 (当初見込み)	(1)	1209	1131	1038	—
	(2)日本赤十字社救護員養成事業費 研修受講人数: 1,052人(H22実績)			(2)	1276	1262	1052	—
					1237	1197		
単位当たり コスト	戦時衛生勤務に服した旧日本赤十字社従軍看護婦等に対する慰労給付金支給事務及び非常災害時における医療救護活動等に備えた研修事業という事業内容に鑑み、これらの数値を単位あたりコストで設定することは適切でない。		算出根拠	—				
平成 23 ・ 24 年度 予算 内 訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	補助金	41百万円	41百万円					
	計	41百万円	41百万円					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	－	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	適切に実施されている。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り		・本経費については、平成23年度予算において大幅な見直しを行っており、事業の必要性からの評価としても、概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めること	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
・引き続き効率的な執行に努める			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

※平成22年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)



費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.日本赤十字社			E.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	物品購入費	災害救護用移動式仮設診療所整備費	11			
	人件費	旧日本赤十字社救護看護婦等に対する慰労給付金支給事務費	23			
	委託費	災害救助調査研究・研修事業	19			
	その他	災害救護訓練の開催経費	18			
	計		71	計		0
	B.日本システム開発研究所			F.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	その他	災害救助活動事例集	5			
	計		5	計		0
	C.三菱総合研究所			G.		
	その他	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	委託費	避難所の設置・推進に関する課題調査	12			
	計		12	計		0
	D.			H.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本赤十字社	旧日本赤十字社従軍看護婦等に対する慰労給付金支給事務及び非常災害時における医療救護活動等に備えた研修事業	71	－	－
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

支出先上位10者リスト

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本システム開発研究所	災害救助活動事例集	5	2	50%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

支出先上位10者リスト

C.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三菱総研究所	避難所の設置・推進に関する課題調査	12	3	33%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					